

解答

2025 年 06 月 30 日実施

1

- (1) ア, (2) ヴェローニ憲章, (3) ア, (4) エ,
(5) エ, (6)① ア ② 人物：サラガト, 政党：イタリア勤労者社会党,
(7) ハンガリー動乱, (8)① キ ② 例) アルド・モーロ, (9) イ.

2

- (1) ① X：イタリア社会運動, Y：イタリア社会党, Z：北部同盟 ② フィーニ,
(2) エ, (3) ア, (4) イ-(b), (5) マーニ・ブリーテ,
(6)① メディア ②ア, (7) ウ, (8) 大統領.

3

- (1) シェンゲン協定, (2) イ, (3) ウ,
(4) 選挙：コンクラーベ, 教皇：レオ 14 世, (5) 例) 6 月 2 日,
(6) ジェノヴァ, (7)① イ ② 2 ③ 2022 年.

解説

1

- (1) イとウの並び替えに悩むが、それが分からなくても、ア、エがその双方よりも後であることは分かるし、ア(ムッソリーニ解任)→エ(独軍のムッソリーニ救出)であるから、解答は**ア**。
- (2) 正答は**ヴェローニ憲章**。難しい問題かもしれないが、知識問題なので解説のしようはない。
- (3) この声明は「サレルノの転換」と呼ばれているものなので正答は**ア**。なお、似た名前のものとして「ボロニーナの転換」：イタリア共産党から左翼民主党への転換、「フィウッジの転換」：イタリア社会運動から国民同盟への転換がある。私は「ミラノの転換」なるものは知らないが、もしかしたら特定の何かを指すかもしれない。
- (4) アはキリスト教民主党、イはイタリア社会運動、ウは行動党、エはイタリア自由党、オはイタリア共和党である。このうち、王制支持を明確にしたのは**エ**である。まず、イタリア社会運動は制憲議会選挙に参加しておらず、キリスト教民主党は立場を明確にせず党員の自由とした。ウとオに関しては左翼政党であるため共和制支持であった。
- (5) 長々と「恥辱のたんす」の話をしているが(それ自体は興味深いものである)、実際に考えるべきは1945年に資料を集める決定をした首相だけである。パッリカデ・ガスペリといったところだが、ア～エにデ・ガスペリのものはない。よってパッリであるため**エ**が正答。なお、アはグロンキ、イはボノーミ、ウはエイナウディである。
- (6)
- ① 実は、制憲議会選挙では単独過半数を獲得した政党はなかった。故に、各勢力の協調のもと憲法が策定されたのである。よって**ア**が誤っている。
 - ② 制憲議会選挙の議長は最初はプロレタリア統一社会党の**ジュゼッペ・サラガト**が務めた。しかし彼は1947年に**イタリア勤労者社会党(PSLI)**を結成し党首となったため、プロレタリア統一社会党は社会党に党名を戻し、議長も共産党のテッラチーニが務めることになった。なお、日本でもイタリア勤労者社会党に似て、民主社会党が日本社会党から分裂した。
- (7) **ハンガリー動乱**が正答。
- (8)
- ① 正答は**キ**。
- I. **誤り**。「経済の奇跡」はイタリア人の国民意識を希薄にするより、「イタリア人」を形成した。すなわち統一以降、「イタリア」はあっても「イタリア人」

のいなかった状態が終わったのである。

II. 誤り。「栄光の三十年間」はフランスのものである。

III. 正しい。

② 自由に答えよ。「アントニオ・セーニ」「フェルナンド・タンブローニ」「アミン・トーレ・ファンファーニ」「ジョヴァンニ・レオーネ」「アルド・モーロ」「マリアーノ・ルモール」から自由に答えることができる。

(9) 長く回勅を引用しているが、実は必要ない。イだけ戦前のものである。よってイが正答。なお、引用されている回勅は「パーチェム・イン・テリス」(地上に平和を)であり、ヨハネス 23 世によるものである。一方で「ノン・エクスぺディト」(適切でない)はピウス 9 世によるものである。なお、本問は「適切でないもの」を選択する形式である。

2

(1)

① X は「八大政党」と呼ばれるくらいの政党で列挙されていないものを挙げればよい。イタリア社会運動である。Y は次に続く文章にクラクシが書記長であることが分かるのでイタリア社会党。Z はボッシによる政党ということでロンバルディア同盟や北部同盟などいくつか思い当たるが、1992 年総選挙に参加し、得票率 8.65% を獲得したのは北部同盟である。

② イタリア社会運動最後の党首はフィーニである。彼はいわゆる「フィウッジの転換」により国民同盟へと党を変革した。

(2) 下線 a で言及されている「路線転換の表明」は 1989 年のものである。この背景にソビエト連邦の崩壊 (1991 年) があることは明らかにおかしい。よってエが誤りである。

(3) 正答はア。シンボルを見ても、“PARTITO DEMOCRATICO DELLA SINISTRA”とあり、左翼民主党であることが分かる。なお、イは統一共産運動 (マイナー)、ウは共産主義再建党、エはオリーブの木 (政党連合) である。

(4) 単純な知識として共和党が早期に離脱したことを抑えている必要がある。また、該当する説明は (b) である。よってイ-(b) が正答。

(5) タンジェントポリ (汚職の町) に対する汚職捜査はマーニ・ブリーテ (清廉なる手) である。

(6)

① 正答はメディア。彼を理解する上で重要なので押さえておこう。

② ベルルスコーニ政権は累計では戦後最長の政権であるから、選ぶべきはアである。

- (7) 1991年6月に実施された国民投票とは、下院選挙において選考投票を一票に減らすことを求めたものである。正答はウ

I. 正しい。

II. 誤り。クラクシが「海に遊びに行くべき」と述べたのは、国民投票の不成立を狙ったものである。イタリアの国民投票はまず過半数が投票に参加していなければ有効とならない。その不成立を狙ったものであり、決して同運動を支持したわけではない。

III. 正しい。賛成 95.6% である。また投票率は 62.2% であった。先述したように反対派はまず投票をボイコットしたから実際の賛成はこれよりも少ない。 $95.6\% \times 62.2\% \approx 59.5\%$ であるのでそれでも賛成派が多数派であったことが分かる。

- (8) **大統領**が当てはまる。なお、大統領は意外にも多くの権限を有する。たとえば首相の提案に基づいて各大臣を任命することができる (共和国憲法 92 条)。しかし、これは大統領が例外的に同意しないことができるに留まるものと解されており、大統領が閣僚の人選に影響を及ぼした過去の事例も数件である。また議会の解散権も大統領が有する。

3

- (1) **シェンゲン協定**が正答。

- (2) 見て分かる通り、議席は概ね人口に比して配分されている。イタリアが最大の人口を有することは考えづらい。恐らくアはドイツであろう。かといってスペインやポーランドに負けるイタリアではないので正答はイ。二問連続で地理のような問題。

- (3) 正答はウ。

ア. 誤り。英保守党は現在は脱退している。

イ. 誤り。同盟はアイデンティティ・民主党に加盟している。

ウ. **正しい**。現在、イタリアの首相であるメローニは同党の代表であったことがある。

エ. 誤り。どちらも参加していない。

- (4) 単純な知識問題、時事問題として知っているだろう。教皇選挙は**コンクラーベ**と呼ばれるものであり、新教皇は**レオ 14 世**と名乗った。

- (5) 例として6月2日の共和国建国記念日を挙げた。他にも、1月6日 (主顕節)、8月15日 (聖母被昇天祭)、11月1日 (諸聖人の日)、12月26日 (聖ステファノの日) でもよい。イタリアについて知らなくとも、キリスト教に造詣があれば答えられそうな問題である。

- (6) ジェノバが正答。なお、参考画像には小さく“GENOVA”と書いてある。
- (7) 選挙の比例性に関する指数「ギャラガー指数」についての問題。本当に「イタリア現代史」かは不明。

① 与えられた式を見てみると、得票率と議席率に乖離がある方が G が大きくなる
ことが分かる。よって、選ぶべきはイ。

② a の存在が確約されているので、 $n = 2$ のときを考えてもよい。百分率では
扱いつらいので通常の表記に戻すと、 $v_1 + v_2 = 1, s_1 + s_2 = 1$ の条件のもと、
 $f = (v_1 - s_1)^2 + (v_2 - s_2)^2$ の範囲を考えればよい (このとき、 $0 \leq G \leq 1$ と
なるように a を選ぶ)。下限が 0 となることは明らかだが、上限はなんだろうか。
 $0 \leq v_1, v_2, s_1, s_2 \leq 1$ であることを踏まえると、 $(v_1 - s_1)^2, (v_2 - s_2)^2 \leq 1$ から
 $f \leq 2$ が分かり、かつ $(v_1, v_2, s_1, s_2) = (1, 0, 0, 1)$ とすることで、 $f = 2$ とできる。
 $G = \sqrt{f/a} \leq 1$ より、 $a = 2$ とすればよい。**2** が正答。

なお、一般の n についても成り立つことを示したいのであれば

$$f = \sum_{i=1}^n (v_i - s_i)^2 = \sum_{i=1}^n v_i^2 + \sum_{i=1}^n s_i^2 - 2 \sum_{i=1}^n v_i s_i$$

の最大値を求める必要がある。 $\sum v_i^2, \sum s_i^2 \leq 1$ ($v_i^2 \leq v_i$ に注意せよ) かつ、 $\sum v_i s_i \geq 0$ より $f \leq 2$ 。実際、 $f = 2$ となる v, s は存在する。よって $a = 2$ である。

また、発展的ではあるが、 n 次元ユークリッド空間の二点の距離を考えてみても
同じ結果が得られる。

③ 実はギャラガー指数は選挙制度と強いかわりをもっている。比例代表制では
小選挙区制に比べ当然ギャラガー指数は小さくなる。さて、イタリアでは 1948 年
総選挙では比例代表制が、2022 年総選挙では比例代表制と小選挙区制の混合制が
用いられた。よって、**2022 年総選挙**の方が、ギャラガー指数が高い (不均衡)。